



ニュースレター「OMOTESANDO HILLS PRESS」は、『文化』『環境』『人』『商業』の4つの視点から、表参道ヒルズの“今”をお届けします。

表参道ヒルズの環境への取り組み

環境元年と謳われる 2008 年。京都議定書の約束期間が開始し、7 月には洞爺湖サミットが開催されるなど、環境への関心が急速に高まっています。そこで、環境との調和を考えた建築デザインである表参道ヒルズの、環境問題への取り組みを紹介します。

環境との調和を目指した建築

2006年2月に、旧同潤会青山アパートの跡地に誕生した表参道ヒルズ。設計に建築家の安藤忠雄氏を起用し、歴史ある表参道の景観と環境との調和を第一に考えた建築デザインとなっています。地下空間を最大限効果的に活用することで、建物の高さをケヤキ並木と同程度に抑えるとともに、屋上緑化を実施。さらに、2007年4月には北側の壁面緑化を行い、ナツツタやジャスミン等7種類の植栽を植え、四季折々に彩を添える、ケヤキ並木と融合する緑豊かな景観を生み出しました。



緑を育む屋上緑化

水景と雨水の利用

緑豊かな表参道ヒルズの周りには、水の演出も施されています。表参道の街に足りないものは何かと考えた時、それが「水」でした。そこで、タウンマネジメントとして住民に憩いを与え、お客様に安らぎを与えるものとして、循環式の水景を創出しました。また、疎水を整備し、雨水を巨大な水槽へ集水し濾過を行い、館内のトイレ用洗浄水や屋上や地上部の植栽への灌水用として雨水を再利用しています。表参道ヒルズには、環境に配慮しながら、いつまでも多くの人々に親しんでいただけるよう、さまざまな工夫が施されています。

グリーンバードへの参加

建物だけでなく、そこで働くスタッフも各自で環境問題に取り組んでいます。“きれいな街は、人の心もきれいにする”をコンセプトに誕生したプロジェクト「NPO 法人グリーンバード」に、表参道ヒルズ全体として協賛するとともに、スタッフが朝の清掃活動に参加。表参道のランドマーク的存在として、表参道の景観美を守っています。

環境イベントの開催

開業以来、様々なイベントを通じて、環境に関する情報を発信してきた表参道ヒルズ。2007 年には、6 月 22 日に開催された「100 万人のキャンドルナイト」に初参加。9 月には、アーティスト MireyHIROKI (ミレイヒロキ) によるアートとエコのインスタレーション、MireyHIROKI LOVE & PEACE PROJECT 「100 UMBRELLAS」を開催し、ビニール傘の使い捨て問題を提起しました。

2008 年には、環境についてのイベントをさらに強化。GWには、「ELLE ECO MARCHE & CAFE」を開催。また、「SHORT SHORTS FILM FESTIVAL & ASIA 2008 STOP! 温暖化部門 EXHIBITION」など、環境問題を身近に考えるきっかけとなるイベントの開催を今後も予定しています。



キャンドルナイトの様子

店舗での環境への取り組み

表参道ヒルズ全体ではもちろん、各店舗でもそれぞれ環境への取り組みを進めています。

家具ブランド「ヒダ」(本館 B2F)は、戦後植林された杉などの木が放置され、森が荒廃する問題が生じているため、杉などの国産材を使用するよう呼びかけるプロジェクトを推進。「クイックシルバーストア」(本館 B3F)は、クイックシルバー ファウンデーション QUICKSILVER foundationという民間の非営利団体を設立し、100%オーガニックコットンの T シャツを販売し、売上の一部を寄付に充てています。その他の各店舗でも独自の取り組みを行い、環境への配慮を行っています。

テナント	企業	取り組み
ダン ゲンテン (本館 1F)	(株)クイーボ	・「エコ」をブランドコンセプトに、環境に配慮した植物性タンニンなめしのレザーや天然素材を使用 ・ショッパーとして布製のエコバッグを使用
ヒダ (本館 B2F)	飛騨産業(株)	・林野庁の「木づかい運動」との協働による、国産杉材の利用を促進するためのプロジェクトの推進
ルポア (本館 B2F)	(株)サンルイ・インターナショナル	・排水時に、生物分解性のある食器用洗剤を使用
クイックシルバーストア (本館 B3F)	クイックシルバー・ジャパン(株)	・民間の非営利団体「QUICKSILVER foundation」を設立 ・ECO FRIENDLY ラインで生産された 100%オーガニックコットンの T シャツを販売し、売上の 3%を寄付
ザ・ノース・フェイス (本館 B3F)	(株)ウェザーステーション	・ペットボトルから再生されるリサイクルポリエステルを使用したウェアの開発・生産 ・コンサベーション・アライアンス・ジャパンを設立し、売上の一部を自然保護団体に寄付
リュネット・ジュラ (同潤館 2F)	(株)ミヤコヤ	・メガネ製作時に出る破材にて、ランプシェードシャンデリアやブチメガネを作製

表参道ヒルズで見つけるエコアイテム

各店舗でエコアイテムを販売する一方、表参道ヒルズとしても、オリジナルのエコアイテムを打ち出しています。本年 2 月には、2 周年を記念して開催した「MOOH」(ザ ミュージアム オフ オモテサンドウ ヒルズ The Museum of Omotesando Hills)のオリジナルエコバッグを販売。グリーンバードへのチャリティ傘や、MireyHIROKI のユニバーサルデザイン傘の販売なども行っており、収益金の一部を緑の東京募金へ寄付しています。



MOOH オリジナルエコバッグ

森ビルとしての取り組み

表参道ヒルズを運営する森ビル株式会社でも、環境への取り組みを実施。森ビルの管理する施設では、ゴミをまとめて集荷し、指定の収集運搬会社によって適正に廃棄及びリサイクルを行っています。また、街づくりを通じた都市緑化の継続的な推進や、都市と自然が共生する快適な都市環境の形成に貢献してきたことが評価され、第 17 回地球環境大賞 国土交通大臣賞を受賞。緑の東京募金への寄付の功績により、都知事賞も受賞しました。4 月に表参道ヒルズで開催した荒木経惟写真展では、入場料の 100 円を全額寄付とし、566,089 円を緑の東京募金に寄付しました。

今後も、表参道ヒルズでは、施設として環境へ配慮していくとともに、地域性、アート性、文化性の高いイベントを通じ、環境問題への取り組みの場を提供していきます。

- 内容に関してのお問合せや写真をご入用の際には、下記までご連絡頂けますようお願いいたします。
- この記事は、本文をご自由にご利用下さい。
- ご取材を頂ける際には、下記までお問合せ下さい。

< お問合せ先 >
 森ビル株式会社 表参道ヒルズ運営室 プロモーショングループ: 吉田・北川
 TEL 03 - 3497 - 0292 FAX 03 - 3497 - 0318
 表参道ヒルズPR事務局: 高橋・高田
 TEL 03 - 5775 - 1560 FAX 03 - 3403 - 0508

【参考資料】

ELLE ECO MARCHÉ & CAFE

『エル・ジャポン』6月号(4月26日発売)の特集『ELLE LOVES THE EARTH』と連動したコラボレーションイベントを、ゴールデンウィークの5月3日(土)から6日(火)まで開催。“地球にいいこと、しますか?”をキーワードに、エコフレンドリーなプロダクトを集めたマルシェや、地球と体にやさしいメニューを味わえるカフェが登場。全9ブランドが出店しました。

貫通通路で行われたエコ・マルシェには、厳しい基準で育てられたオーガニックコットンを使用したアイテムを販売する「ナナデコール」や、ショウガ・マッシュルームなどの植物の成分を配合したスキンケアブランド「ビーファイン」などが出店。本館1Fの表参道茶寮のエコ・カフェでは、エルのフードマガジンがプロデュースしたテーブルウェア「エル・ア・ターブル」の紹介などを行いました。

マルシェとカフェの売上の一部は、CO2 排出権の購入に充てられ、カーボンオフセットを実現。楽しみながら地球温暖化のストップに協力できる画期的なイベントとなりました。



主催 エル・ジャポン、エル・オンライン

協力 凸版印刷

特別協力 チーム・マイナス 6%

後援 表参道ヒルズ

参加ブランド

オーガニックワインショップ マヴィ、ゲンテン、ナナデコール、パンゲア オーガニクス、
ビーファイン、フレームワーク、ラ・カスタ、ELLE PARIS K.K.、NEC Direct

SHORT SHORTS FILM FESTIVAL & ASIA 2008 STOP! 温暖化部門 EXHIBITION

今年で10周年を迎える、アジア最大級の短編映画祭「SHORT SHORTS FILM FESTIVAL & ASIA 2008」。10周年を記念して、温暖化防止の国民運動「チーム・マイナス 6%」(環境省)の協力のもと、新たに「STOP! 温暖化部門」が設立されました。世界各国から寄せられた地球温暖化をテーマにした300本以上のショートフィルムの中から、選りすぐりの入選作品を一挙上映します。温暖化の現状や地球の未来について、映像を通してメッセージを発信していきます。

期間 6月7日(土)・8日(日)

時間 13:30/15:30/17:30/19:30

(各回70分上映予定)

場所 表参道ヒルズ 本館 B3F スペース[O:] (オー)

入場 無料

会場には、温暖化防止のためのチャリティの募金箱を設置します。



表参道ヒルズとは

表参道ヒルズは、日本のファッション、文化の中心としてトレンドを発信し続けてきたストリート・表参道の新たな核として2006年2月に誕生した、世界に類をみない文化商業施設です。

本館中央の6層(地下3階～地上3階)の吹き抜け空間や、それを螺旋状に囲むように表参道の坂とほぼ同じ勾配を持つ長さ700mの“スパイラルスロープ”(第二の表参道)、吹き抜け空間中央の大階段(地下1階から地下3階)、そして大階段につながる地下3階には約500㎡の広さを持つスペース[O:] (オー)が配置されています。約270mのファサードを構成、延床面積34,061㎡、約100の専門店が集う商業施設、38戸の住宅(ゼルコバテラス)、全216台の駐車場で構成された複合施設です。

所在地 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 4-12-10

代表電話番号 03-3467-0310 (総合インフォメーション / 受付時間 11:00～21:00)

URL www.omotesandohills.com

営業時間	ショッピング・サービス	11:00～21:00	日曜～20:00
	レストラン	11:00～24:00 (L.O.23:00)	日曜～23:00 (L.O.22:00)
	カフェ	11:00～23:00 (L.O.22:00)	日曜～22:00 (L.O.21:00)

一部営業時間が異なる店舗もあります。

日曜日が祝日、休日の前日の場合、営業時間は通常と同じになります。

休館日 2008年8月18日(月)

アクセス 東京メトロ銀座線、千代田線、半蔵門線「表参道駅」A2出口より徒歩2分

東京メトロ千代田線「明治神宮前駅」5出口より徒歩3分